

# 1月 食育だより

平成 29 年 1 月 11 日  
松江第二中学校

あけましておめでとうございます。本年も食育だよりを通して、さまざまな食に関する情報をお伝えしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

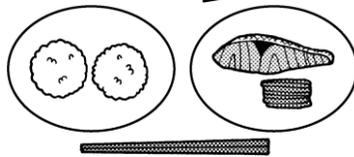
さて、1月24日から30日までの1週間は「全国学校給食週間」です。学校給食は、栄養バランスのよい献立でみなさんの心と体の成長を支えるほか、望ましい食習慣を身につけるための大切な時間でもあります。改めて、学校給食について考えてみましょう。

## 学校給食の始まり

明治22年に山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちを対象に無償で提供された昼食が、日本で最初の学校給食だといわれています。当時の献立はおにぎり、塩鮭、菜の漬物などが出されていたといわれています。

明治22年の給食

おにぎり、塩鮭、菜の漬物



## 全国学校給食週間とは



明治22年に始まった学校給食は戦争により一時中断しましたが、ララ（アメリカの民間団体）などからの援助を受け、昭和21年の12月24日に三都県（東京・神奈川県・千葉県）で試験的に実施されるようになりました。その後、全国でも学校給食が再開され、給食の意義や役割についての理解や関心を深める週間として、冬休みに重ならない1月24日から30日を「全国学校給食週間」と定められました。

## 現在の学校給食は

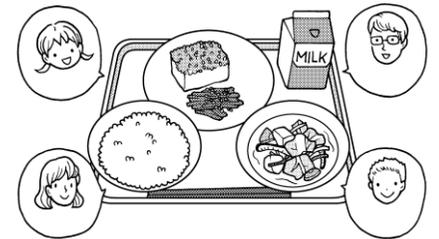
小中学生の成長に役立つ栄養バランスのよい内容はもちろんのこと、給食を通してさまざまな事を知ってもらうため、地元の農産物を活用した献立や行事食、郷土料理などを実施しています。

現在の学校給食は生きた教材として、学校での食育を進める上で大切な役割をしています。



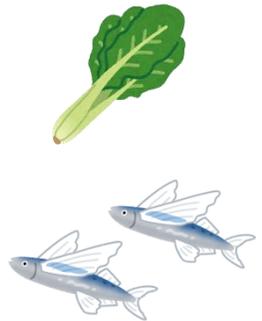
## 給食の思い出を家族で話してみましよう！

家族で食事をする時に給食の思い出を話題にしてみましょう。好きな（好きだった）給食の献立や印象に残っているできごとなどを、ぜひ語り合ってみてください。



## 小中連携校共通献立を実施します

1月26日に第3回目の小中連携校（第二松江小学校、西小松川小学校）共通献立の給食を実施します。学校給食週間にちなんで東京都の特産物を使用した献立です。トビウオ・明日葉は八丈島産、小松菜は江戸川区産です。食べた感想など兄弟で話してみてくださいね。



担当 栄養士 山本広美